

赤字申告法人3.3万件

国税庁が赤字と申告していた約3万3千件の法人を調べたところ、1割以上が実は黒字だったことが分かった。約4000件が黒字だった。非上場の中小企業の中にはわざと赤字にして法人税の納税を免れるケースが多いとの指摘がある。適切に納税している企業から見ると、不公平とも映る

1割以上 実は黒字

構図が明らかになった。12億円を追徴課税し、国税庁が2015年度に赤字だと申告していた企業全体の99%を占めるのは資本金1億円以下を實施した。調査した約3万3千件のうち申告に間違いがあったのは約2万4千件。約8000件で不正がみつかり、その半数は赤字と申告していた黒字法人だった。国税庁は3011億円の申告漏れの所得を把握し、2億1100万円の追徴課税を調査した。調査した約3万3千件のうち申告に間違いがあったのは約2万4千件。約8000件で不正がみつかり、その半数は赤字と申告していた黒字法人だった。国税庁は3011億円の申告漏れの所得を把握し、2億1100万円の追徴課税を調査した。

国税庁、15年度分を調査